

病院を受診された患者さまへ

2025 年 10 月 27 日 作成

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	大腿骨近位部骨折患者における AI 解析ソフトウェアを用いた骨密度の調査（後ろ向き横断研究）
当院の研究責任者 (所属)	仲宗根 哲（琉球大学病院整形外科）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	中頭病院 関節外科 部長 石原昌人 那覇市立病院 整形外科 科長 翁長正道
本研究の目的	<p>本研究では、大腿骨の骨折で手術を受けられた患者さんの手術前に撮影した CT 画像をもとに、骨や筋肉の状態を AI を用いて解析し、沖縄県における骨折の特徴を調べます。これにより、骨粗しょう症の治療や予防の大切さを科学的に示し、県民の皆さまがより積極的に治療や予防に取り組むきっかけになることを目指しています。</p> <p>また、骨折した患者さんのうち、骨密度の保たれている方については、その理由を調べ、新しい予防法を考える手がかりとします。さらに、筋肉量の低下（サルコペニア）が骨折リスクを高めることも知られており、もし患者さんの筋肉量の減少が明らかになれば、食生活や運動習慣の改善など生活習慣の見直しに役立つと考えています。</p> <p>本研究では、手術前の評価のために通常行われている CT 画像を利用します。新たな検査をお願いすることはなく、患者さんに追加の負担や被爆が生じることはありません。</p>
研究実施期間	倫理審査委員会承認日～2029 年 3 月 31 日
調査データ(該当期間)	2020 年 1 月～2024 年 12 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>① 2020 年 1 月～2024 年 12 月 の期間に琉球大学病院の整形外科及び連携施設にて大腿骨近位部骨折の治療を受けた症例。</p> <p>② ①に当てはまる症例で受傷時に股関節 CT 撮影を行った症例。</p> <p>下記の患者様は除外対象となります。</p> <p>① 本人または代理人からの参加拒否のある場合</p> <p>●利用する情報（試料の利用はありません。）</p>

	<p>術前評価のために撮影した CT 画像データを利用します。</p> <p>基本情報（年齢、性別、検査時身長、体重、BMI）、病歴（既往歴、内服歴）、血液検査所見、ADL 評価、運動習慣、喫煙歴、飲酒歴、骨粗鬆症治療薬の服薬状況と服薬期間、大腿骨近位部の形態学的因子</p> <p>専用のソフトウェアで算出される、骨密度と筋肉量</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	共同研究機関との情報授受は、個人情報を含まない符号化データに限定し、パスワード設定したメール添付またはパスワード保護された USB メモリ等を用いて行います。
試料・情報の二次利用	本研究で得られた情報を別の新たに利用する可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会で承認された後、実施します。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人を特定できないよう、情報は符号化し管理します。個人情報は使用しません。また、研究結果を学会等において発表することがありますが、個人情報が特定できる情報は一切使用いたしません。得られたデータ及び、匿名化に用いた対応表は研究分担者・國吉さくらが厳重に管理し、整形外科学講座内の施錠できる研究室のハードディスクにデータで保存し、パスワードなしでのアクセスを不可能とします。対応表は共同研究機関においても同様に管理され、研究機関間での授受は行いません。本研究の目的以外の利用は行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	整形外科学講座において一括管理を行う寄附金及び、病院研究基盤経費を利用する可能性があります。本研究は琉球大学および各機関の利益相反審議部会に必要事項を申告し、その審議と承認を得ています。
お問い合わせ先	<p>琉球大学整形外科</p> <p>電話：098-894-1301</p> <p>担当者：仲宗根哲、國吉さくら、高江洲美香、鷺崎郁之、西田康太郎</p>
備考	